

- 従来よりも生産効率のよい設備の導入・生産工程の構築に取り組みます。
- 自家消費型の太陽光発電設備を敷地内に設置し、当該設備による電力を自社内で使用することで、外部からの電力購入額を削減し、炭素生産性を向上させます。
- これらにより、従来よりもCO2排出量を抑えた生産活動に取り組み、炭素生産性の向上を図ります。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2025年11月～2028年3月

2. 生産性向上目標

2028年3月までに炭素生産性を28.6%向上させる。

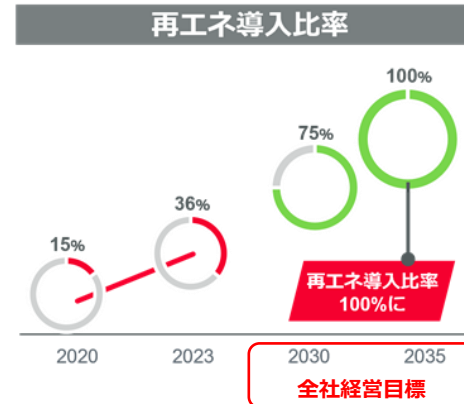
3. 前向きな取組の内容

合理的な生産能力の増強を行い、従来よりも省エネ性能の高い生産工程を構築する。また、自家消費型の太陽光発電設備の設置により、外部からの電力購入額を削減する。これらの施策により、CO2排出量の削減を目指す。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<取組の内容のイメージ>



取り組み例



※株式会社福井村田製作所、株式会社出雲村田製作所、株式会社富山村田製作所、株式会社ハクイ村田製作所、株式会社氷見村田製作所、株式会社アズミ村田製作所、株式会社小松村田製作所、株式会社ワクラ村田製作所、株式会社穴水村田製作所、株式会社金沢村田製作所、株式会社鯖江村田製作所、株式会社登米村田製作所、株式会社岡山村田製作所、株式会社大垣村田製作所、株式会社小諸村田製作所、株式会社岩手村田製作所、株式会社埼玉村田製作所、株式会社東北村田製作所